

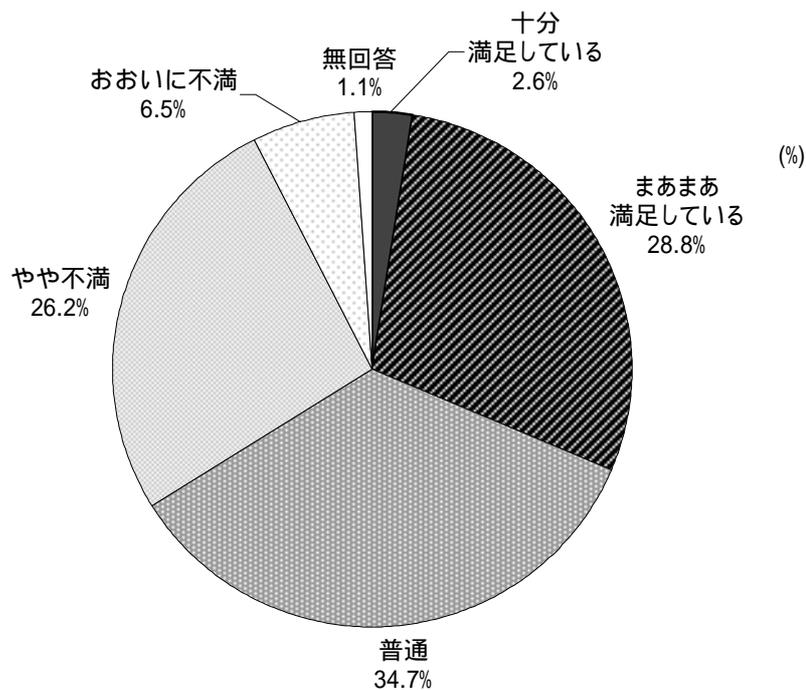
7. 市の緑

(1) 緑の満足度

(1) - 1 市域全体の緑の満足度

問14 あなたは、市域全体の緑に満足していますか。(1つだけ)

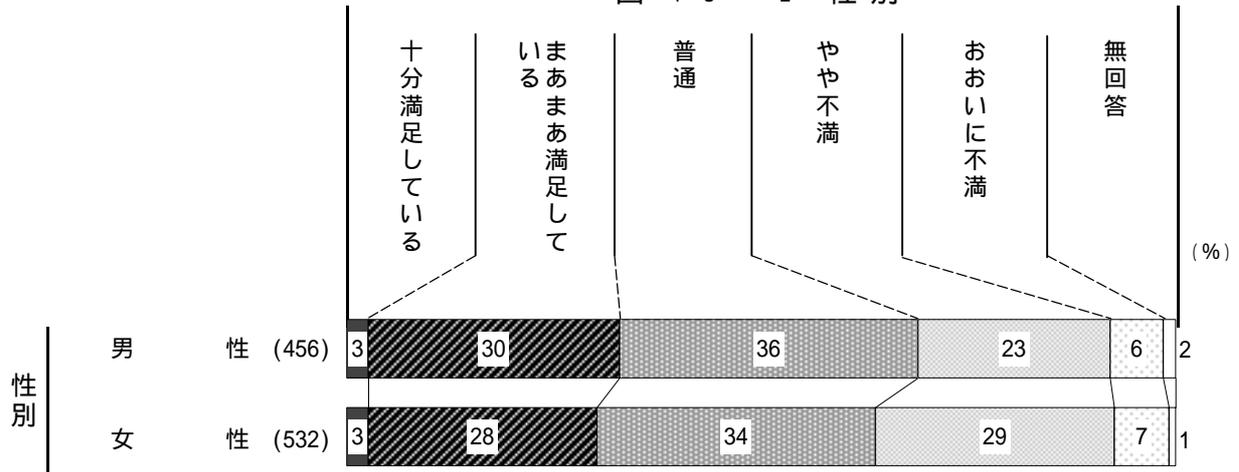
図 13 - 1



【全体 = 988】

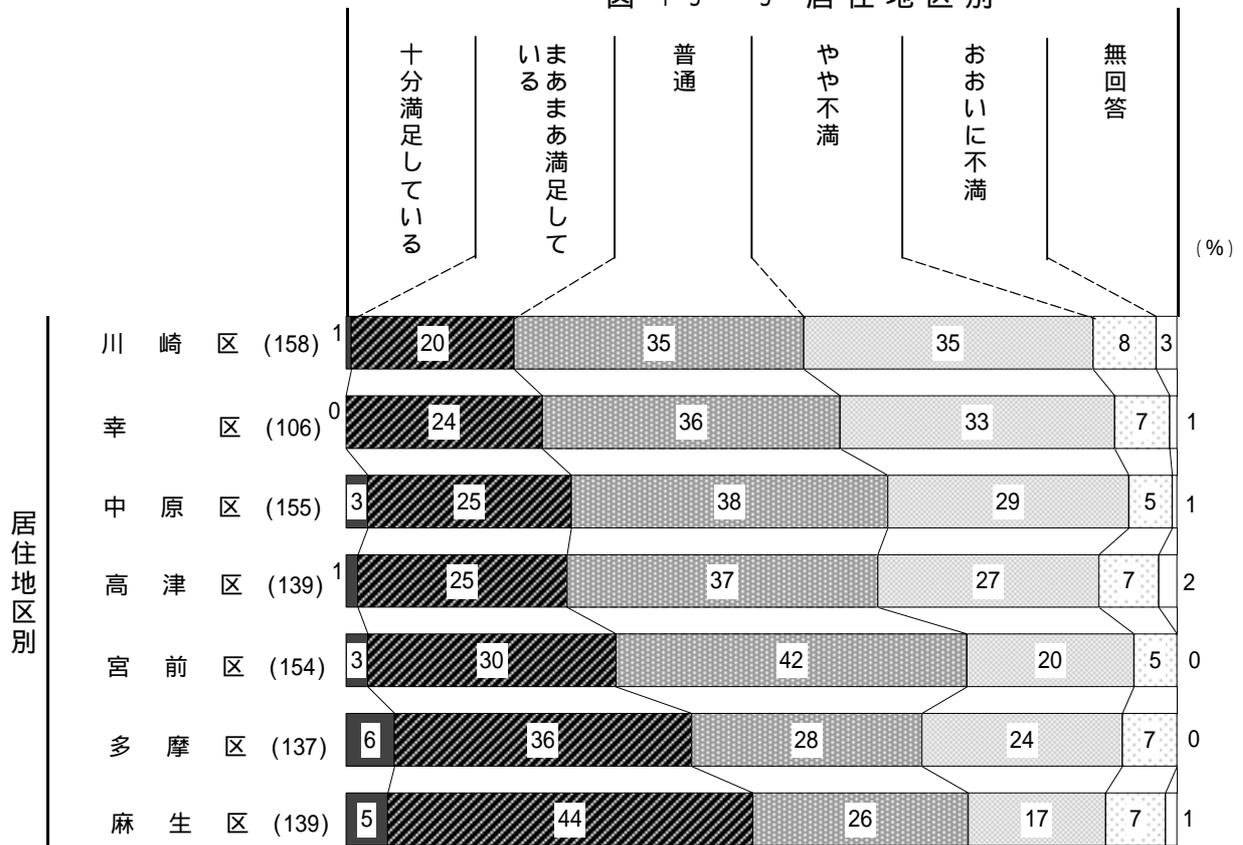
市域全体の緑の満足度をたずねたところ、「普通」が34.7%で最も多い。「十分満足している」(2.6%)と「まあまあ満足している」(28.8%)を合わせた満足度は31.4%である。一方、「おおいに不満」(6.5%)と「やや不満」(26.2%)を合わせた不満派は32.7%となっている。

図 1 3 - 2 性別



性別では、男女ともに満足度は30%強、不満派の割合は女性の方が男性を上回っている。

図 1 3 - 3 居住地区別

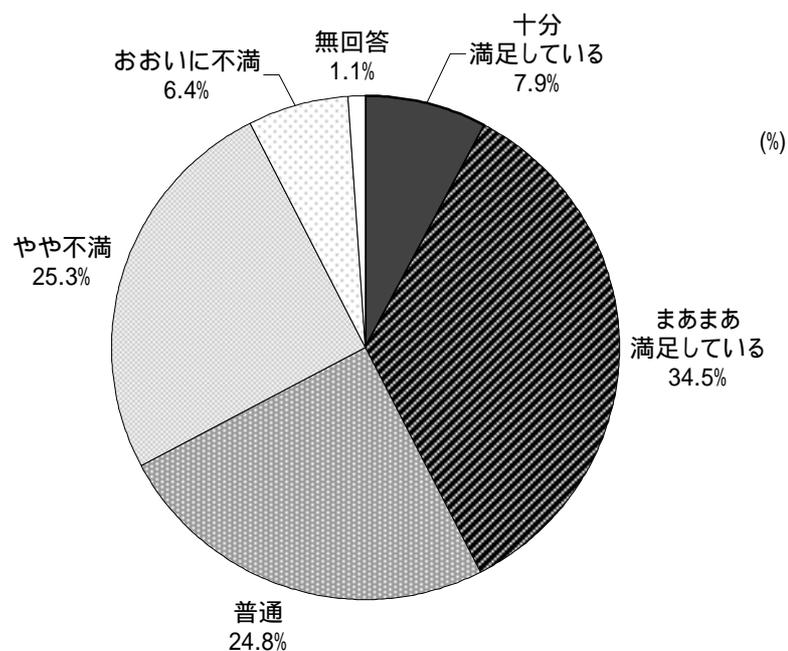


居住区別では、満足度は麻生区(49%)が最も高く、次いで多摩区(42%)となっている。一方、不満派の割合は川崎区(43%)と幸区(40%)が40%を上回っている。中原区、高津区、宮前区では「普通」の割合が最も多くなっている。

(1) - 2 居住地域(区)の緑の満足度

問15 あなたは、居住地域(区)の緑に満足していますか。(1つだけ)

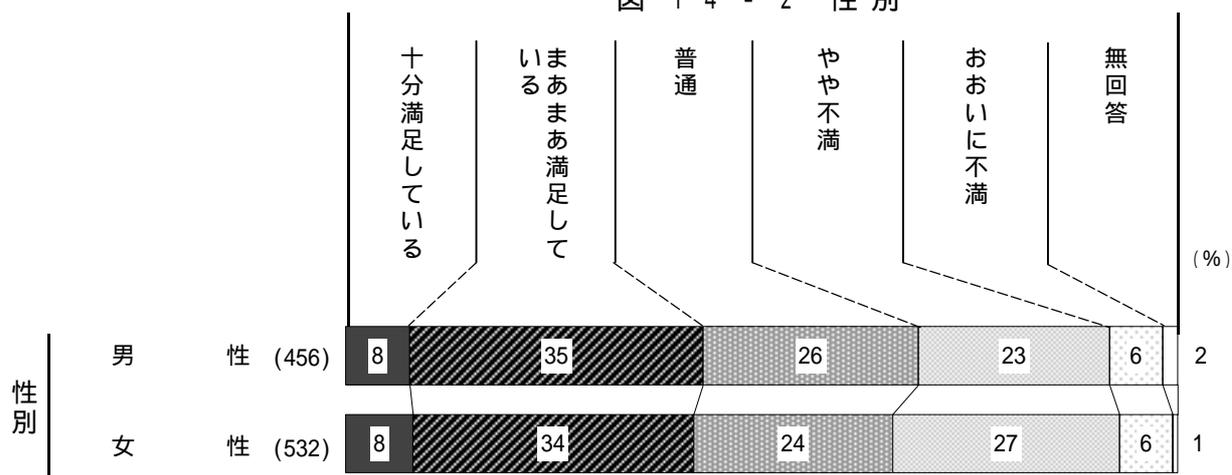
図 14 - 1



【全体 = 988】

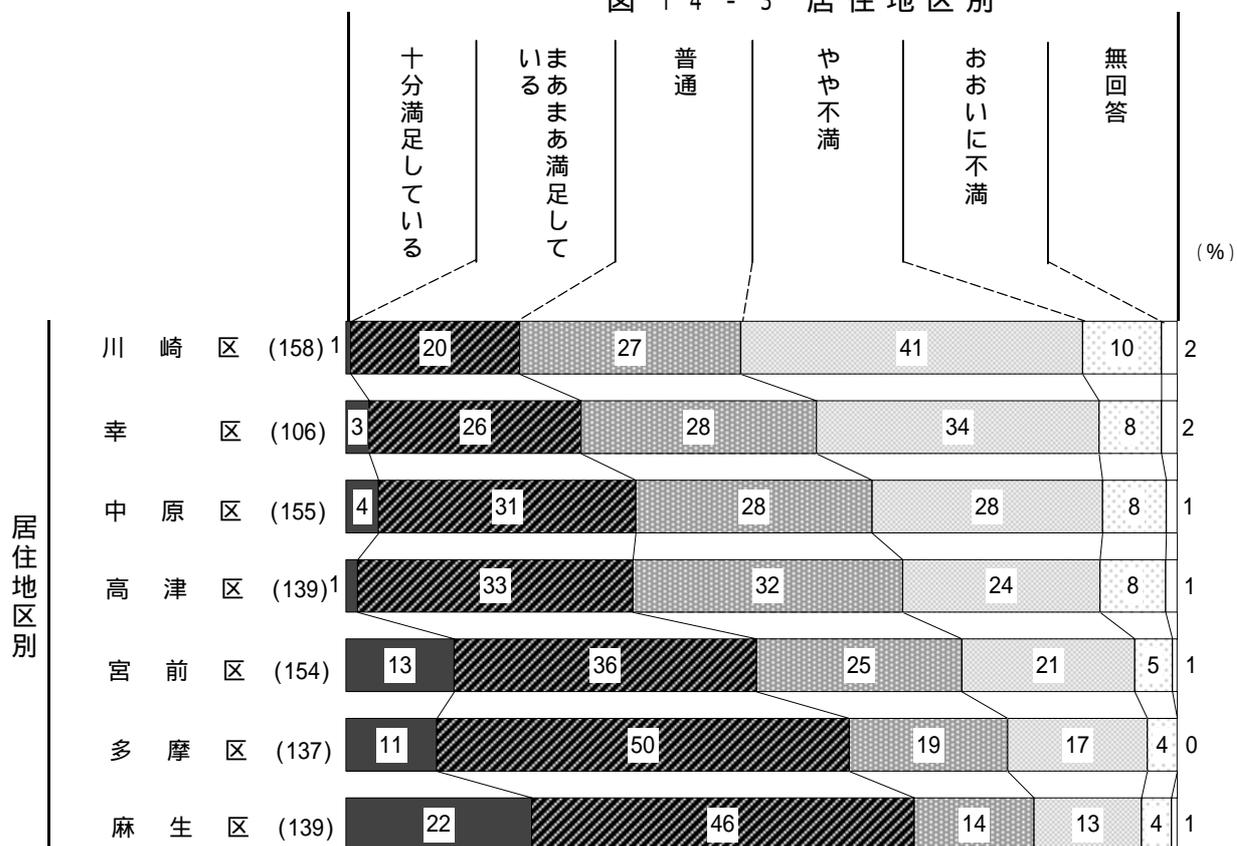
居住地域の緑の満足度をたずねたところ、「まあまあ満足している」が34.5%で最も多く、これに「十分満足している」(7.9%)を合わせた満足度は42.4%である。一方、「おおいに不満」(6.4%)と「やや不満」(25.3%)を合わせた不満派は31.7%となっている。

図 1 4 - 2 性別



性別では、男女ともに満足度は40%強、不満派は30%前後となっている。

図 1 4 - 3 居住地区別

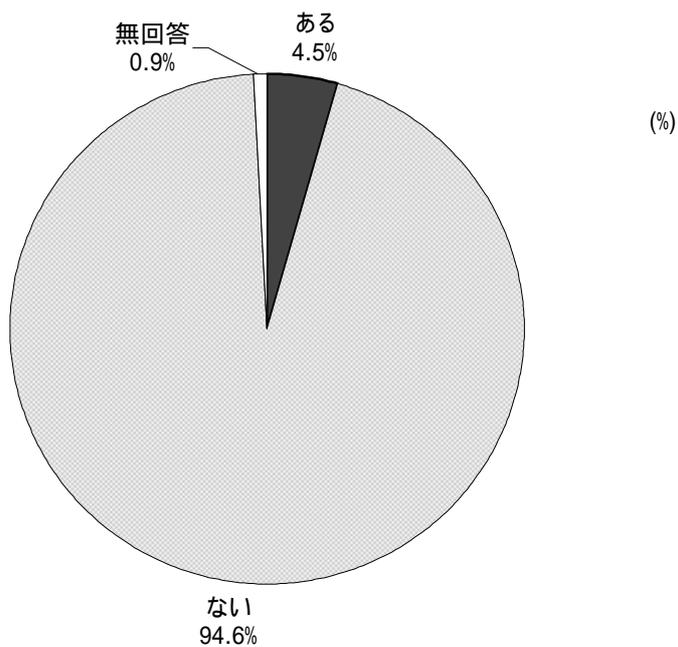


居住区別では、満足度は麻生区(68%)が最も高く、次いで多摩区(61%)、宮前区(49%)となっている。一方、不満派は川崎区(51%)と幸区(42%)が40%を上回っている。中原区、高津区では満足度、不満派、「普通」がそれぞれ30%前後で分散している。

(2) 緑化活動の参加経験

問16 あなたは、木や花を植えたり世話をする緑化活動に参加したことはありますか。
(1つだけ)

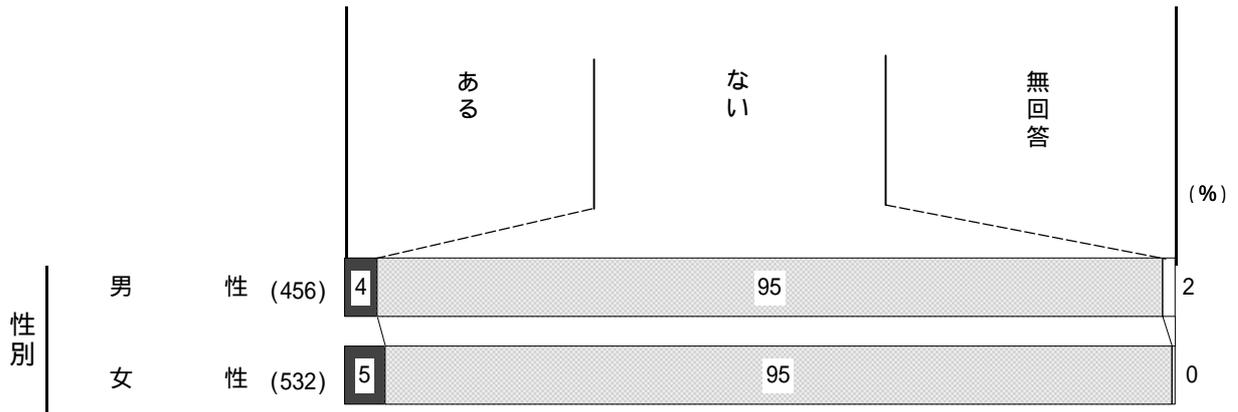
図 15 - 1



【全体 = 988】

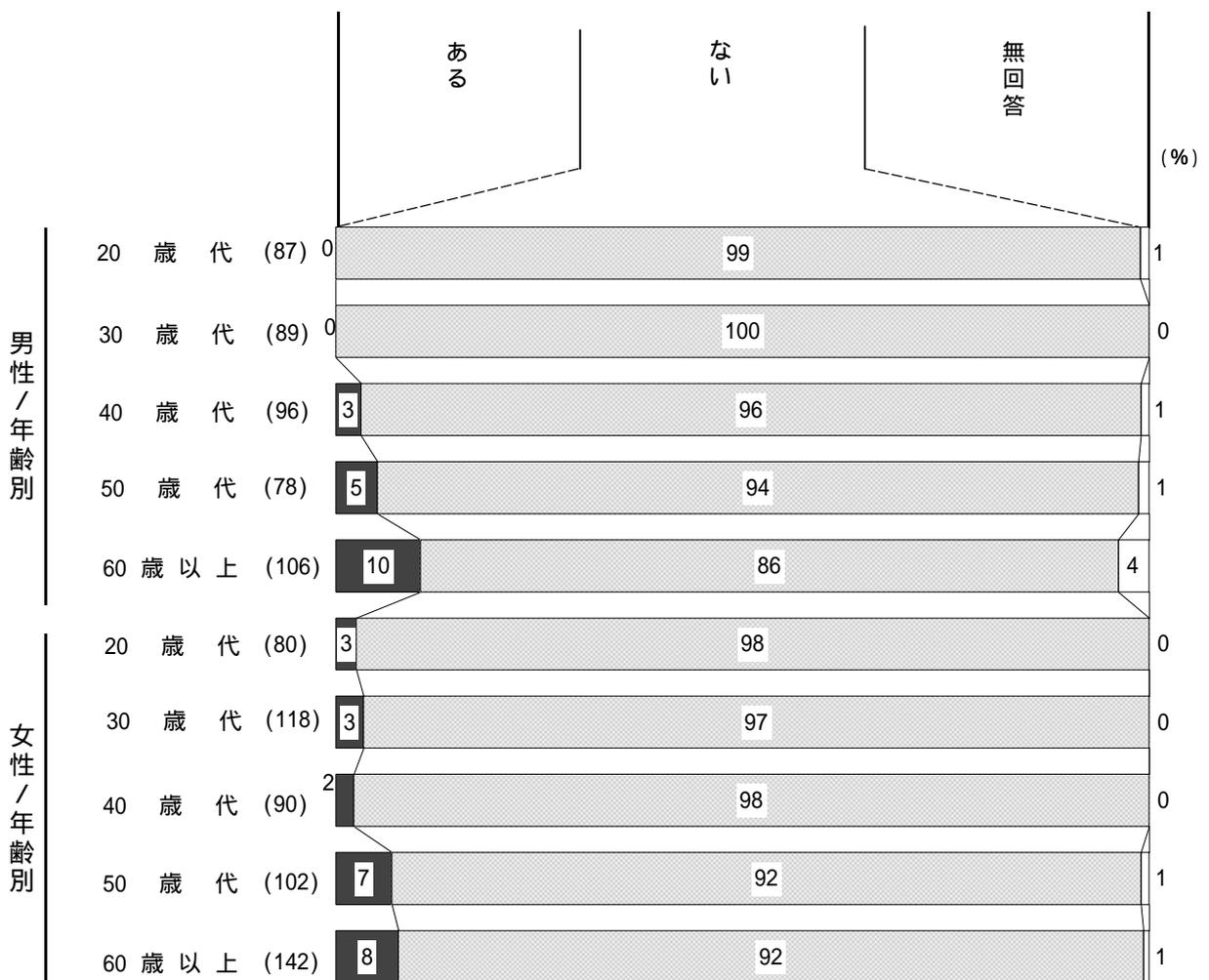
緑化活動の参加経験をたずねたところ、参加経験が「ない」が94.6%で多数を占め、「ある」は4.5%にすぎない。

図 15 - 2 性別



性別では、男女ともに参加経験は5%程度である。

図 15 - 3 性・年齢別



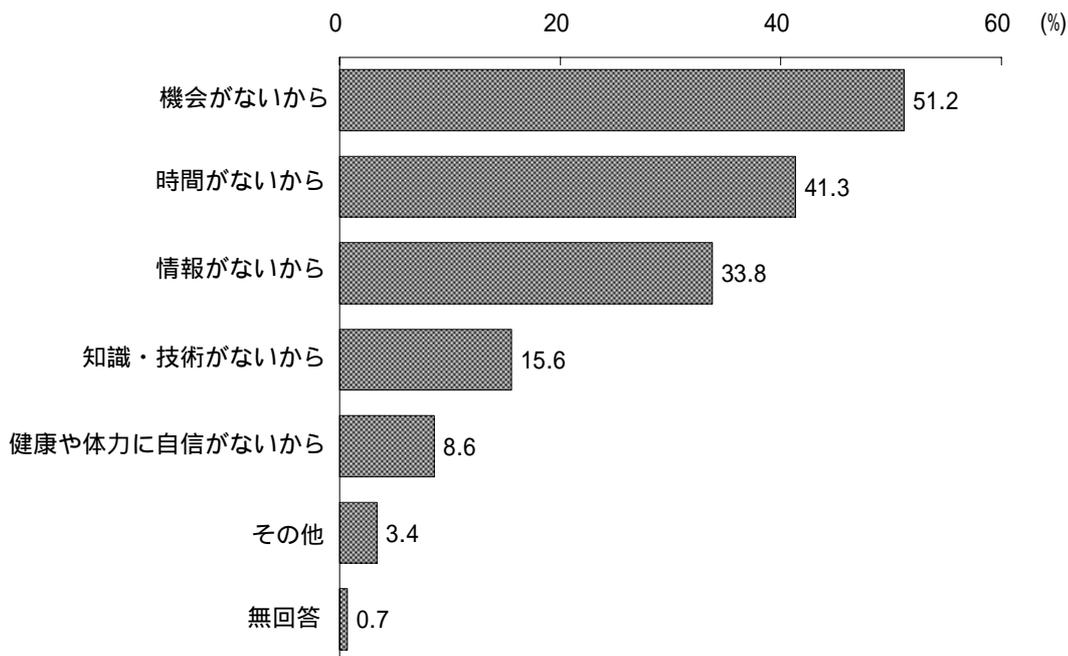
性・年齢別では、参加経験が「ある」人は男性60歳代が10%であり、その他の性・年齢は10%未満である。

(2) - 1 緑化活動へ参加していない理由

(問16で2と答えた方に)

問16-2 参加したことのない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
(いくつでも)

図 15 - 4



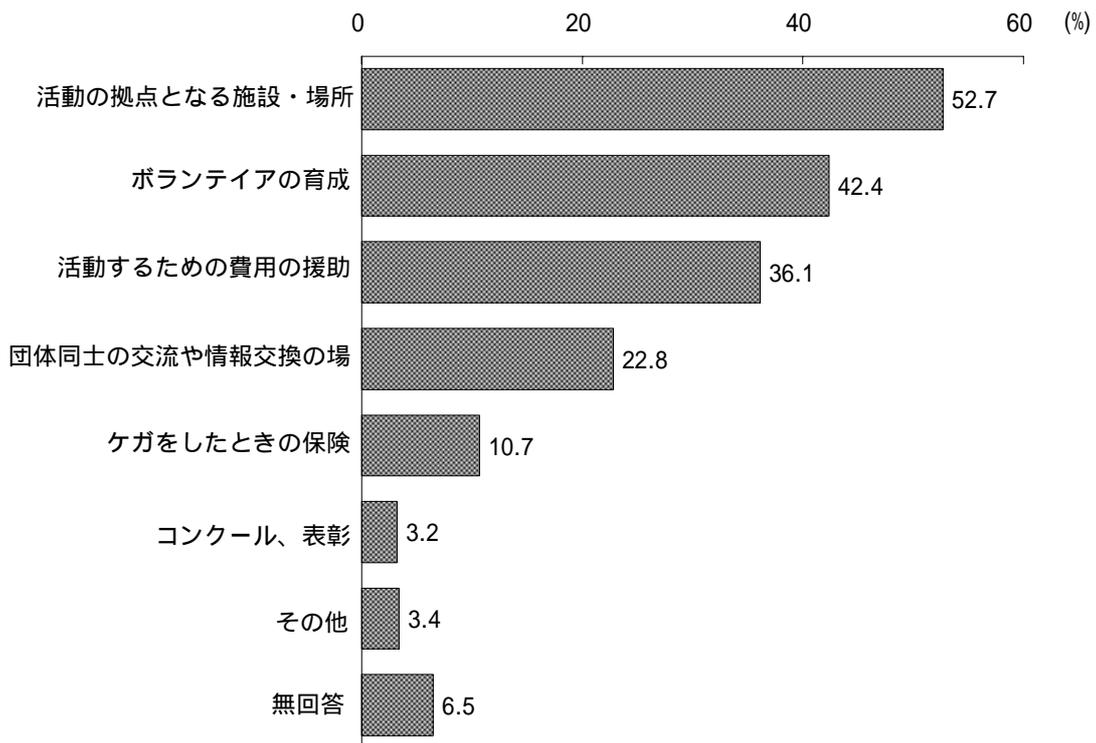
【n = 935】

緑化活動へ参加していない理由をたずねたところ、「機会がないから」が51.2%で最も多く、次いで「時間がないから」(41.3%)、「情報がないから」(33.8%)と続いている。以下、「知識・技術がないから」(15.6%)、「健康や体力に自信がないから」(8.6%)となっている。

(3) 緑化活動推進のために必要と思われる施策

問17 あなたは、緑化活動推進のために必要と思われる施策はどのようなものだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

図 16 - 1



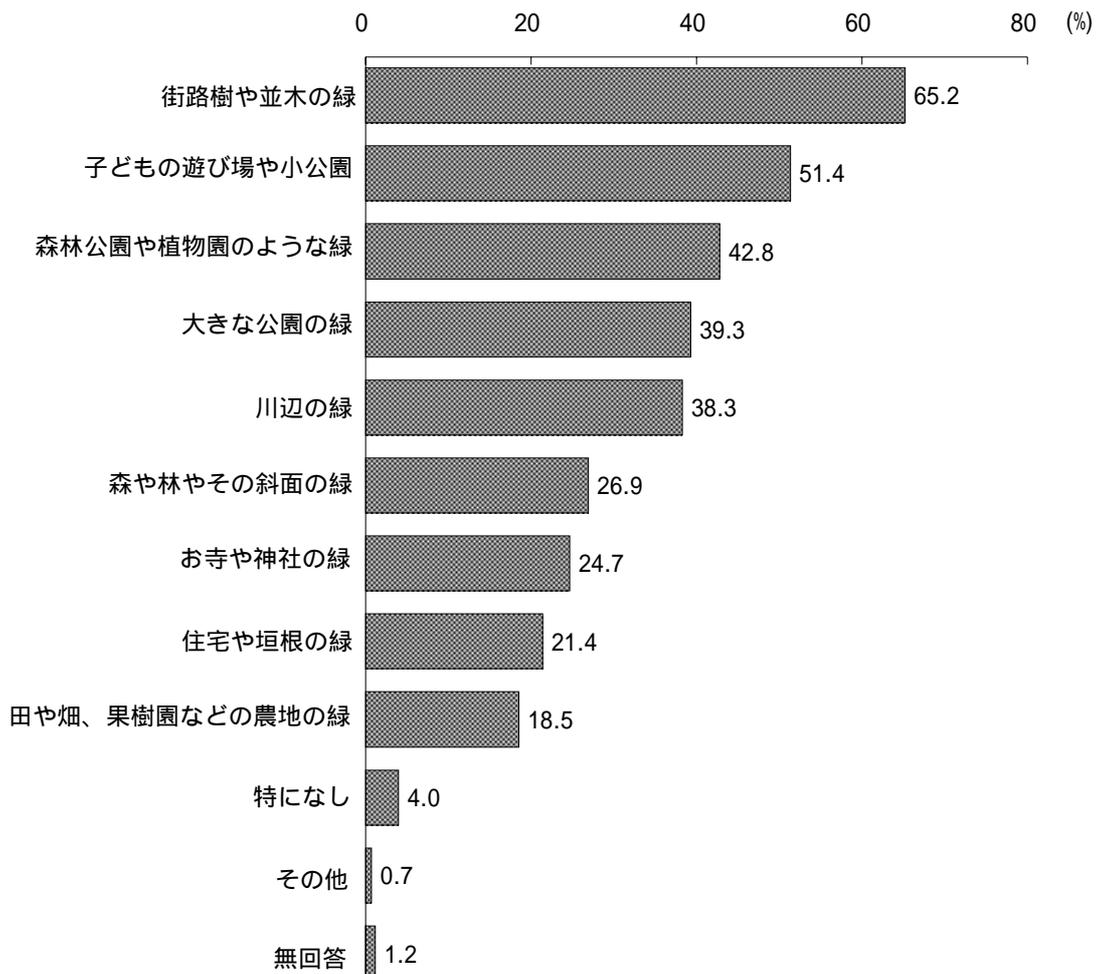
【n = 988】

緑化活動推進のために必要と思われる施策についてたずねたところ、「活動の拠点となる施設・場所」(52.7%)、「ボランティアの育成」(42.4%)、「活動するための費用の援助」(36.1%)が上位3位となっている。以下、「団体同士の交流や情報交換の場」(22.8%)、「ケガをしたときの保険」(10.7%)、「コンクール、表彰」(3.2%)の順となっている。

(4) 保全を希望する緑の場所

問18 あなたは、市内のどのような緑が保全されることを望みますか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

図 17 - 1



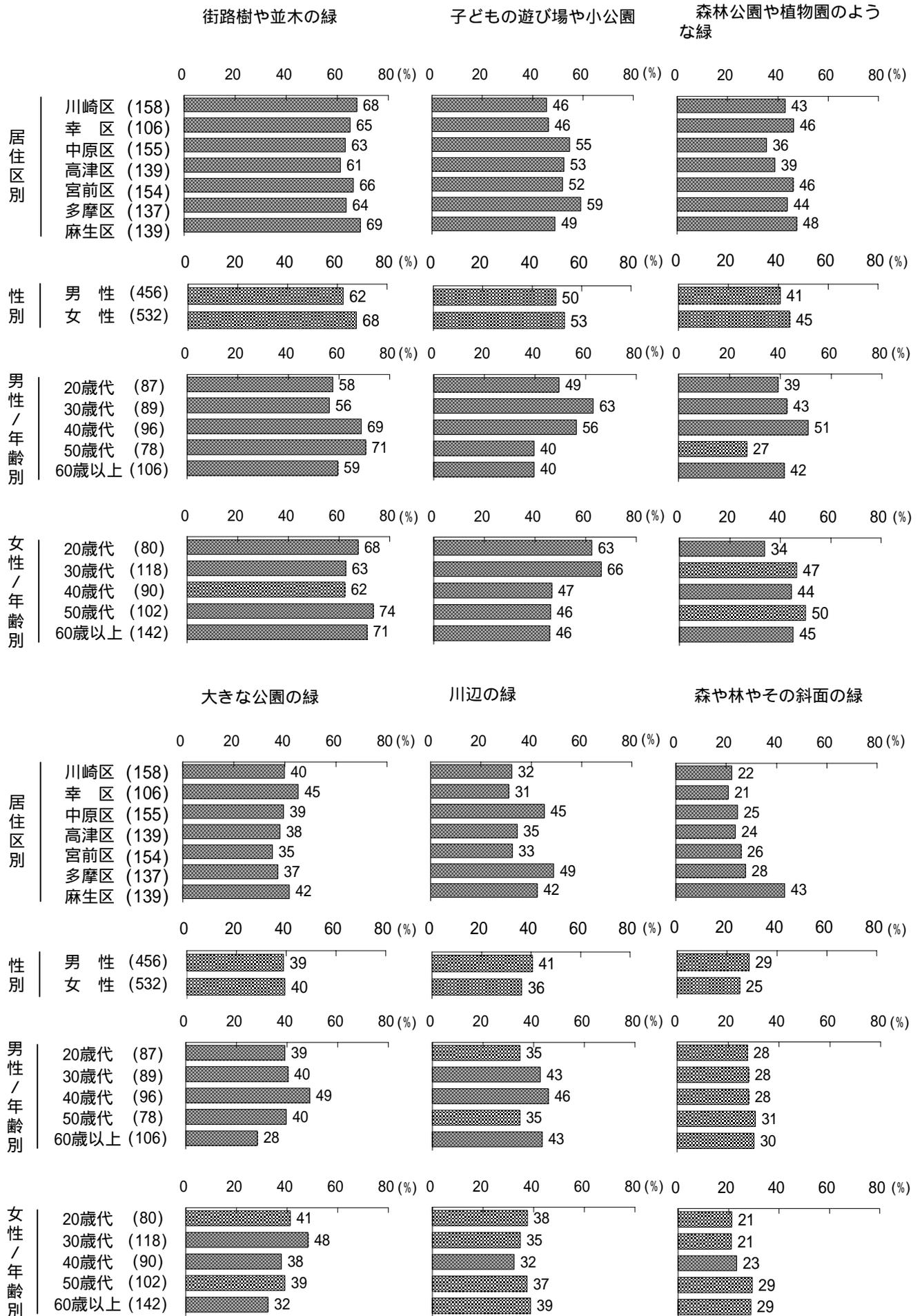
【n = 988】

保全を希望する緑の場所をたずねたところ、「街路樹や並木の緑」(65.2%)が最も多く、次いで「子どもの遊び場や小公園」(51.4%)、「森林公園や植物園のような緑」(42.8%)、「大きな公園の緑」(39.3%)、「川辺の緑」(38.3%)と続いている。以下、「森や林やその斜面の緑」(26.9%)、「お寺や神社の緑」(24.7%)、「住宅や垣根の緑」(21.4%)、「田や畑、果樹園などの農地の緑」(18.5%)となっている。

上位6項目の地区別では、すべての地区で「街路樹や並木の緑」が最も多い要望となっている。

性・年齢別では、男女ともに30歳代を除くすべての性・年齢で「街路樹や並木の緑」が最も多い要望となっており、30歳代では「子どもの遊び場や小公園」が最も多くなっている。

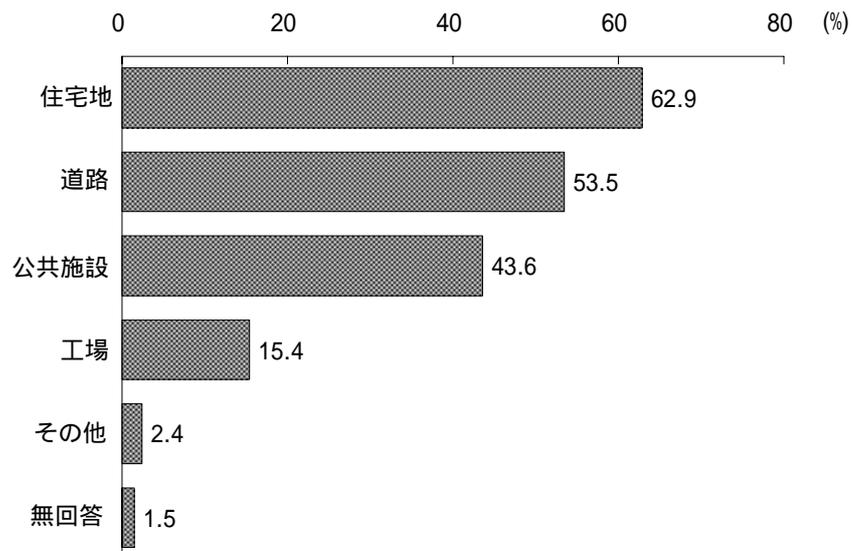
図 17 - 2 居住区別 / 性別 / 性・年齢別 (上位6項目)



(5) 緑化を希望する地域

問19 あなたは、市内のどのような地域が緑化されることを望みますか。次の中からいくつかでも選んでください。(いくつでも)

図 18 - 1



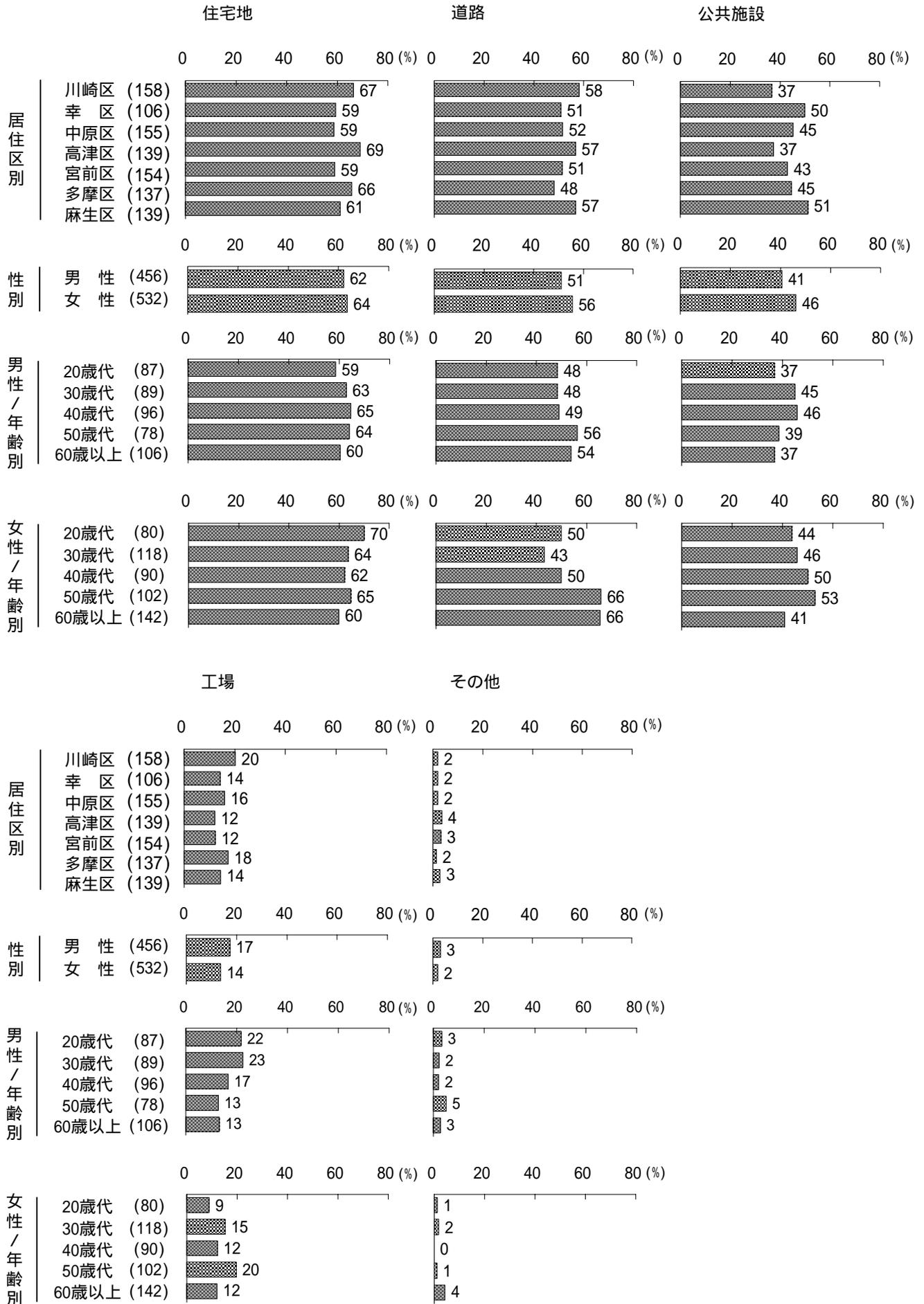
【n=988】

緑化を希望する地域をたずねたところ、「住宅地」(62.9%)が最も多く、次いで「道路」(53.5%)、「公共施設」(43.6%)、「工場」(15.4%)となっている。

居住区別では、すべての区で「住宅地」が最も多く、「道路」は川崎区、高津区、麻生区が他の区と比べて多く、「公共施設」は幸区、麻生区で要望が多くなっている。

性・年齢別では、女性50歳から60歳以上を除くすべての性・年齢で「住宅地」の要望が最も多い。女性50歳から60歳以上は「道路」の要望が最も多くなっている。

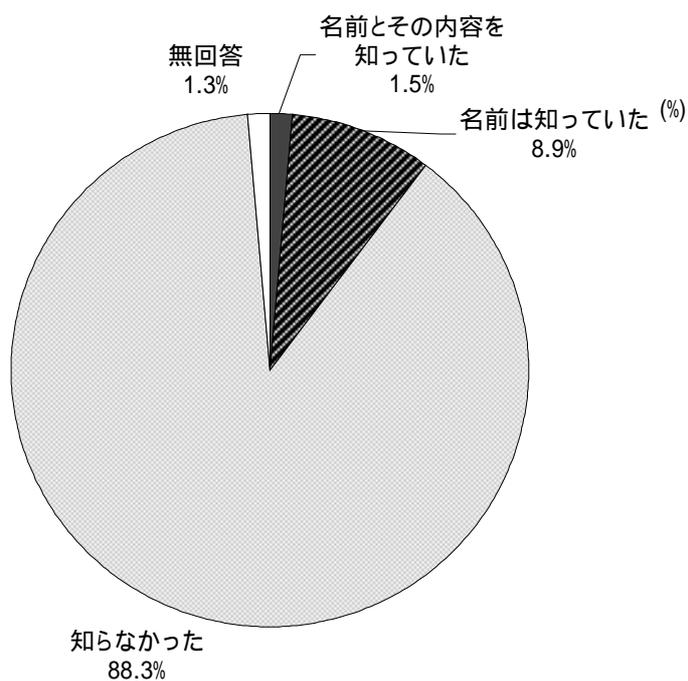
図 18 - 2 居住区別 / 性別 / 性・年齢別



(6) 緑の基本計画の周知状況

問20 川崎市では、平成7年度に緑の基本計画(かわさき緑の30プラン)を策定し、緑化の推進と緑の保全のため、様々な施策を実施していますが、あなたは、この緑の基本計画についてご存知ですか。(1つだけ)

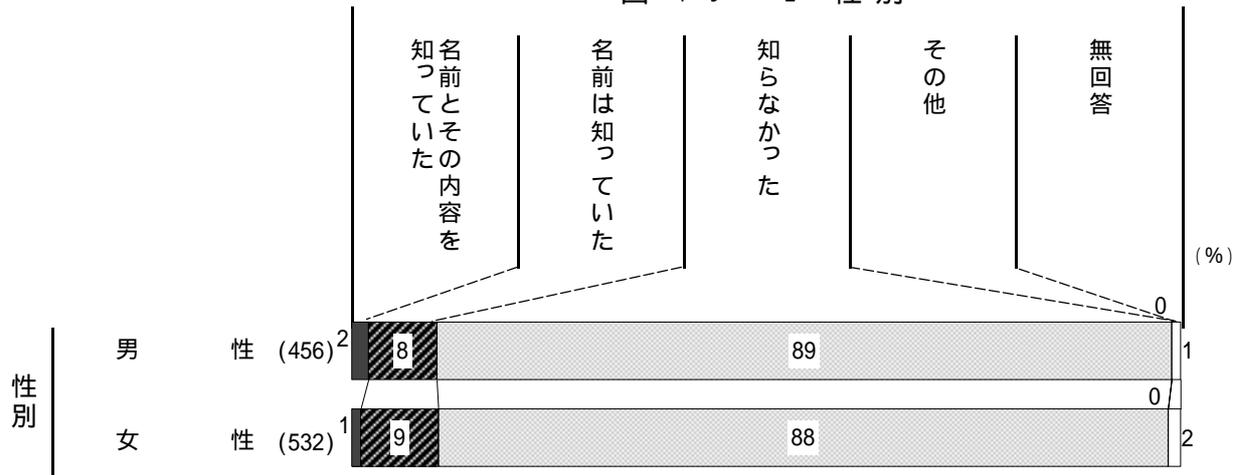
図 19 - 1



【全体 = 988】

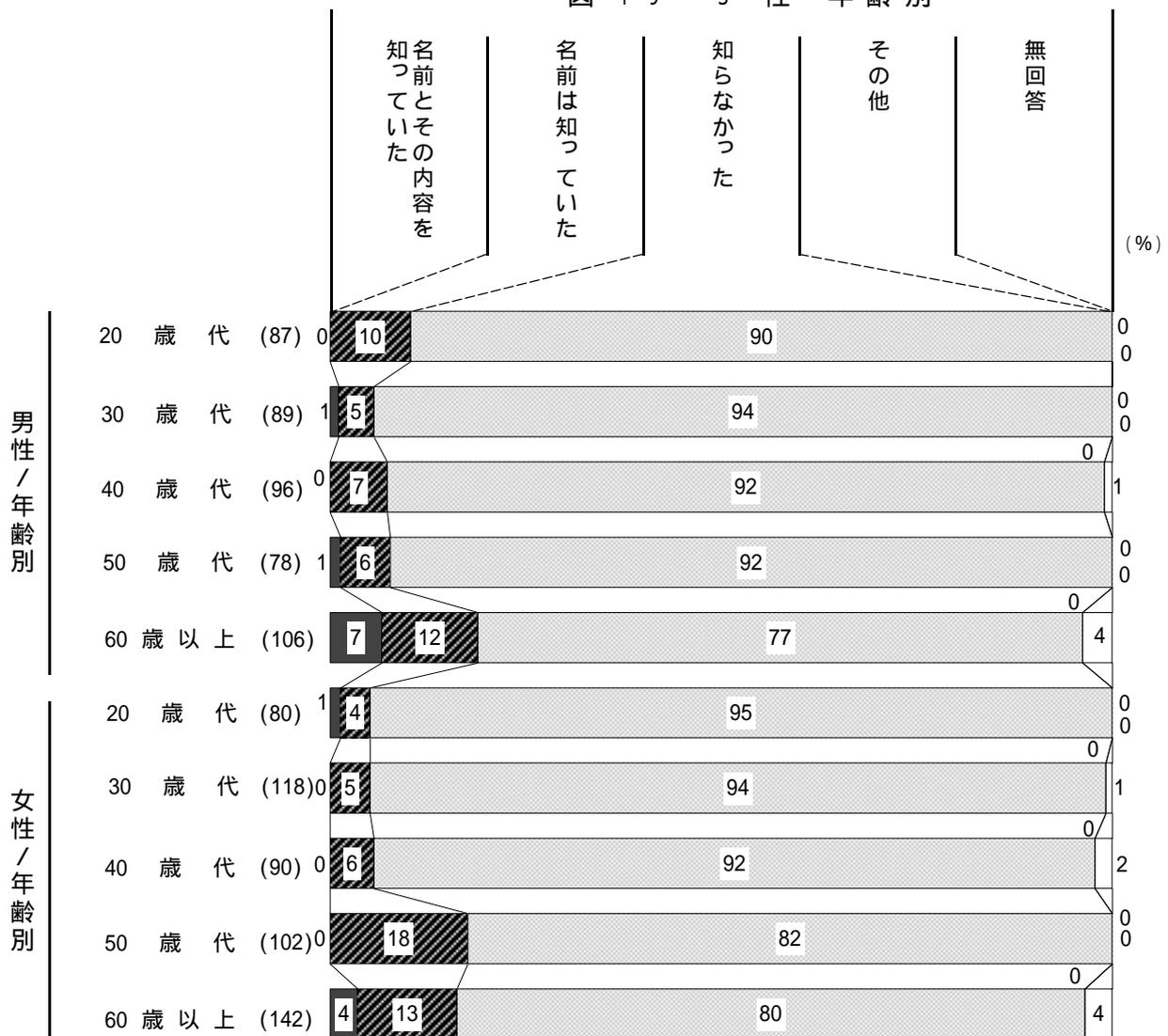
緑の基本計画の認知状況は、「知らなかった」が88.3%で多数を占めている。「名前とその内容を知っていた」(1.5%)と「名前を知っていた」(8.9%)を合わせた周知率は10.4%である。

図 19 - 2 性別



性別では、男女ともに周知率は10%程度であり、「知らなかった」が90%近くを占めている。

図 19 - 3 性・年齢別



性・年齢別では、男性20歳代、男性60歳以上、女性50歳から60歳以上で周知率は10%を超えたが、その他の性・年齢では10%に満たない。